

各専門部の熱中症対策

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・各専門部へ熱中症対策の要請 ・各専門部の対応について相談，とりまとめ ・各専門部の対応を他の専門部にも情報共有 ・HPへのアップ（各専門部の対応の一覧表，当日ごとの対応のアップ） ・県内全校への注意喚起文書発送 ・県教委への連絡，相談，緊急対応の確認 ・日本中体連，他県中体連との連絡，情報共有 ・消防署への協力依頼 ・病院への依頼 ・各専門部へ経口補水液準備の指示 ・各施設の休憩可能場所の確保 ・冷房の予算措置 ・テレビ局への対応
陸上競技	<ul style="list-style-type: none"> ・長距離種目で給水を実施 ・長距離種目が暑い時間にならないよう配慮 ・専門部で氷，経口補水液を大量に準備 ・エアコンが入る部屋を1部屋確保 ・熱中症予防のアナウンスを随時会場内に入れる
水泳	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房あり ・経口補水液と氷の準備
バスケット	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房あり
サッカー	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生大会の延期→一昨年度のように県大会後に戻す。ただし，4日間連続ではなく，中日を2日設ける。（7月25、26、29、30） ・本来，選手交代が制限なく行えるのは決勝のみだが，1回戦から制限なくできるようにする ・クーリングブレイクの導入
ハンド	<ul style="list-style-type: none"> ・扇風機を複数台設置 ・会議室，研修室等を借用し，冷房を効かせて体調不良者に対応
野球	<ul style="list-style-type: none"> ・試合開始時間を早める ・1イニングで20分を超えた時点で休憩 ・スタンドの応援生徒への水分補給のこまめな呼びかけ（特に一年生への配慮を徹底する） ・会場を増やし，3試合日程を2試合日程に変更 ・4回終了時グラウンド整備（5分）の時間を設け，その間に給水・休憩をとる。 ・すべての会場に会長，副会長，実行委員会会長，副会長等の管理職がつき，柔軟な対応を可能にする。
体操	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房を入れて実施（参加者負担）。扇風機を4台設置。経口補水液の準備。
バレー	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房あり
ソフトテニス	<ul style="list-style-type: none"> ・軽微なけが等は各校で対応し，養護教諭は体調不良者の対応に専念できるよう文書配布 ・各校で応援生徒をできるだけ減らす，または応援生徒への配慮の徹底，選手の健康管理を徹底するよう監督会議等で連絡 ・経口補水液を多めに準備 ・シェルコムせんだいと泉体育館の会議室，研修室等を借用し，冷房を効かせて体調不良者に対応。また昼食，休憩等の時間にシェルコムや泉体育館など屋内施設を開放 ・例年雨天時にしか使用しないシェルコムせんだいを会場として併用→これによって①炎天下での試合数を減らす②休憩時間を多く設定する③もっとも暑くなる正午付近に2時間程度の休憩 ・コートに待機する時間を減らす
卓球	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめな換気 ・会議室等を借用し，冷房を効かせて体調不良者に対応
バドミントン	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房あり
ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・審判への給水をイニングごとに行う（それによって攻撃が始まるまで選手も多少休憩できる） ・30分ごとに給水タイムを設定
柔道	<ul style="list-style-type: none"> ・こまめな換気 ・会議室等を借用し，冷房を効かせて体調不良者に対応
剣道	<ul style="list-style-type: none"> ・冷房あり
相撲	<ul style="list-style-type: none"> ・直射日光に当たらないように配慮，健康観察
弓道	<ul style="list-style-type: none"> ・待機している生徒が直射日光に当たらないよう配慮 ・テントの使用（2張） ・冷房がきく部屋の借用 ・業務用扇風機の使用（1日目：2台，2日目：4台）
ホッケー	<ul style="list-style-type: none"> ・1試合のみなので健康観察のみ